

発刊にあたって

今日の環境問題は、都市化の進展や生活様式の変化に伴う負荷の増大に加え、循環型社会の構築や地球温暖化対策の推進といった新たな喫緊の課題が生じるなど、複雑化・多様化しています。

現在の環境問題を解決し、持続可能な社会を作っていくためには、行政のみならず、県民、事業者、民間団体が積極的に環境保全活動に取り組むことが必要です。

このため、県では、環境保全活動の輪が広がることを目指し、平成 18 年 3 月に「富山県環境教育推進方針」を策定しました。この方針の中で、環境教育に関連の深い施設については、環境教育を広めていただく「場」として積極的に利用を図ることとされたところです。

こうしたことから、このたび、環境教育の場としての環境関連施設を広く県民に紹介するため、NPO 団体「環境教育ネットワークとやまエコひろば」と協働で、環境教育ガイド「訪ねてみよう、体験しよう！とやまの環境学習施設」を作成しました。本書では、施設のあらまじや、見学によって学べること、体験できることなどを取りまとめています。また、親しみやすく簡単な学習プログラムなども紹介しています。

本書により、多くの県民の皆様がこれらの施設を訪問され、環境への関心を深めていただくとともに、他の環境関連施設の皆様においては環境教育を実施される際の一助となれば幸いです。

おわりに、本書の取りまとめをいただきました「環境教育ネットワークとやまエコひろば」の皆様と、ご協力いただきました環境関連施設に心から感謝申し上げます。

平成 19 年 3 月

富山県生活環境文化部環境政策課長 堀 武司